

2017愛顔つなぐえひめ国体大会
選手、監督6人が出場



教育長 松崎さん 金森さん 山口さん
高井さん 市長 河田さん 石岡さん

9月から10月にかけて愛媛県で行われる国民体育大会(2017愛顔つなぐえひめ国体)と全国障害者スポーツ大会(2017えひめ大会)に出場する、市内在住の選手・監督6人の激励会を9月14日に行いました。

訪問したのは、えひめ国体にサッカーの監督として出場する金森康二さん(県立加茂高校教諭)、サッカーの松崎亮凱さん(県立岐阜城北高②)、ハンドボールの高井陽太さん(市立岐阜商業高校③)、卓球に監督として出場する河田靖司さん(十六銀行)、クレー射撃の山口浩二さん、えひめ大会にサッカーで出場する石岡聖冬さん。また、激励会は欠席しましたが、レスリング競技に岡田英将さん、空手道の形に福永貴都さんが出場します。

選手の方々は、「念願の本大会なので、ベスト8を目指す」「勝つて上に進めるよう頑張りたい」とそれぞれ意気込みを話しました。

市長は、「たくさんの方の支えで戦えることはこれからも人生の糧になる。市民代表として頑張ってきてほしい」とエールを送りました。

大橋朋花さんがアーチェリー
世界ユース選手権に出場

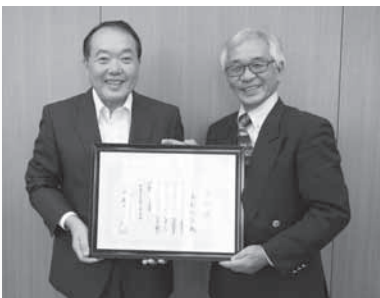


9月15日、大橋朋花さん(聖マリア女学院③)が市長を訪問し、アーチェリーの国際大会「2017年世界ユース選手権大会」への出場を報告しました。

この大会は、10月2日～8日の期間にアルゼンチンで開催される大会で、日本からは3人の選手が出場します。

大橋さんは「ユースは海外で競ういい経験になるので、力を出し切りたい」と抱負を述べ、市長は、「山県市の代表として、今回の世界ユース、そして2020年を目指して頑張ってもらいたい」と激励しました。

西村覚良さん、全国社会
教育委員連合表彰を報告



北海道で開催された第59回全国社会教育研究大会で(社)全国社会教育委員連合表彰を受賞した西村覚良さんが、9月15日、市長を表彰訪問しました。

西村さんは、平成15年から現在に至るまで市社会教育委員を務め、25年からは県社会教育委員連絡協議会会長としても活躍しています。他にも市文化財審議会会長、学校コラボレーター事業コーディネーターとして地域の文化振興や、地域と学校の連携による教育力向上にも貢献し、長年市の生涯学習、社会教育の推進と発展に寄与した功績により今回の表彰となりました。

夏の集大成
夏休み作品展表彰式



9月13日、山県市夏休み作品展表彰式が行われました。夏休み作品展は市内全小中学校の児童生徒が対象で、表彰式では5部門から選ばれた17人が市長から賞状を受け取りました。

市長は、「どの作品も技術力がすごい、また、子どもたちの感性に驚いた。読書感想文も自分の思いがうまく書かれており、レベルが高いと感じた」と話しました。

表彰式の後は、受賞者がそれぞれの作品を鑑賞しました。

今回表彰された作品のうち10作品については、県の各コンクールに出展されます。

木で楽しくリラックス
高富児童館に木育ひろば



平成29年度清流の国ぎふ森林・環境基金事業補助金の交付を受け、高富児童館2階遊戯室に木育ひろばがオープンしました。

おもちゃ棚や絵本棚、つみぼぼ、木育馬、K・Kブロックなど県産材を使用した棚やおもちゃが新しく入りました。

木育ひろばオープンに際して、おもちゃコンサルタントマスターの浅野美香子さんを招いて「木のおもちゃで遊ぼう」を行い、200ピースあるつみぼぼを使っているいろいろな形に積んだり、ドミノ倒しをしたりして親子で遊びました。

アジア原紙(株)と企業立地に 関する協定を締結

9月29日、企業立地に関する相互協力と円滑な推進を図ることを目的に、市とアジア原紙(株)が協定を締結しました。

市では、平成31年度に予定されている東海環状自動車道(仮称)高富ICの供用開始の機会を生かし、積極的に企業誘致に力を注ぎ、地域経済の活性化と雇用の拡大を図っています。この取り組みを進める中で、アジア原紙(株)が高富武士ヶ洞地区に本社、工場などの移転を決定し、協定を結ぶこととなりました。

締結式では、市長と代表取締役社長の坂本時雄さんが、岐阜県商工労働部次長の矢本さん立ち会いのもと協定書を取り交わしました。市長は、「100人規模の本社機

能移転は、市となってから初めてのことであり、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、企業誘致を実現し、地域の活性化と雇用の創出につなげたい」と話しました。また、坂本社長は、「県と市の協力のもと、締結式を行うことができ感謝するとともに、平成32年中の操業開始に向け、着実に作業を進めていきたい」と語りました。



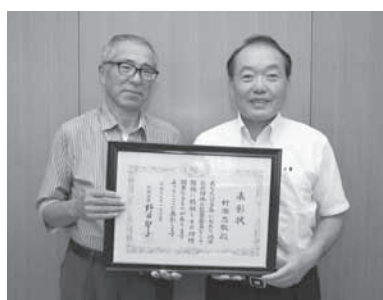
市民の健康増進に役立てて 十六銀行が健康器具を贈呈



(株)十六銀行から100万円相当の健康器具が寄贈されることになり、9月25日、目録の贈呈式が行われました。

この寄贈は、十六銀行創立140周年記念事業の一環で、市長に目録を贈呈した十六銀行取締役副頭取の池田直樹さんは、「山県市の健康づくりの推進と、健康寿命の延伸に役立ててほしい」と話しました。寄贈される健康器具は、11月中旬ごろに、市役所前みんなのげんき広場に設置される予定です。

村瀬忠敬さんが総務大臣表彰 (監査事務功労)を報告



9月25日、市代表監査委員の村瀬忠敬さんが、地方自治法施行70周年記念監査事務功労者総務大臣表彰を受け、報告のために市長を表彰訪問しました。

村瀬さんは、平成19年5月に市代表監査委員に選任され、以来、現在に至るまで長年監査事務に携わり、地方自治の発展に寄与した功績により今回の表彰となりました。

バレーボールシニア男子山県市代表が 県民スポーツ大会で優勝



9月26日、バレーボールシニア男子市代表監督の服部光志さんが、第10回岐阜県民スポーツ大会の優勝報告のため、市長を表彰訪問しました。

県民スポーツ大会は、県内の郡市選抜による対抗種目を中心とした大会で、服部さんは、第1回大会から市代表の監督を務め、以来、不参加だった第3回を除く第10回大会まですべての大会でチームを優勝に導きました。服部さんは「山県市は昔からバレーが盛んで熱心な指導者が多くおり、設備の整った市総合体育館のおかげもあって子どもたちからバレーに親しめる環境がある。次世代の育成にもつなげていきたい」と話しました。

河川財団主催の研究発表会で 高富中生物部が優秀賞



7月に東京大学で行われた、(公財)河川財団主催の研究発表会で、高富中学校生物部が優秀成果賞を受賞し、9月28日、同部顧問の福田英治教諭と部長の三宅遙香さん(高富中③)が市長を表彰訪問しました。

同校は全国の大学教員や大学院生などで構成された120団体の中で、唯一の中学校。この受賞は、世界初とされるヒダサンショウウオの産卵行動の撮影結果が高く評価されたもので、また、登壇した三宅さんは最優秀発表者にも輝きました。

みんなでつくって、楽しむ
高富児童館えがおまつり



9月2日、高富児童館で「高富児童館えがおまつり」が行われました。このまつりは今年初めて実施するもので、小学生のリーダーたちが夏休み中に話し合っって企画し、運営も自分たちで行う、子どもたちのためのまつりです。

当日は、ボールすくいや輪投げなどのイベントのほか、ヒップホップダンスの披露などもあり、子どもから子育て世代まで約300人が参加し、世代を超えてまつりを楽しみました。

おはなし隊がやってくる！
全国訪問おはなし隊が来訪

9月9日、講談社の「全国訪問おはなし隊」が市図書館を訪れました。かわい絵本のキャラクターたちが描かれたブルーのキャラバンカーには、543冊の絵本が積まれ、参加した26組の親子は、次から次へと本を楽しそうに見ていました。

おはなし会では、おはなし隊長の黒澤令子さんと地元ボランティアの黒澤令子さんと地元ボランティアが、絵本や紙芝居5作品を読み、子どもたちは夢中で聞き入っていました。



ふるさとをきれいに
TEAM1999清掃活動



9月3日、TEAM1999による清掃活動が行われました。TEAM1999は、旧美山南中学校を1999年に卒業した同級生の集まりで、毎月第1日曜日に美山地域を中心に地域環境の美化と維持を目的に活動しています。今年、市協働のまちづくり推進補助金を活用しました。

清掃当日は、富波地区の国道道沿いのカーブミラー磨きとゴミ拾いで汗を流しました。

清掃活動に参加したメンバーは、「自分たちが住んでいる地域を自ら清掃することで、自然豊かな山県を守りたい」と語りました。

将来を担う人材を育成
高校生が下刈り体験

9月12日、みやまの森で岐阜農林高等学校1年生40人が林業就業体験実習を行いました。

この実習は、岐阜農林事務所が主催し、将来の森林づくりを担う若い人材を確保することを目的に、岐阜中央森林組合と連携して毎年実施しています。

実習では、森林組合職員による下刈り鎌を使った下刈り作業について話を聞いた後、実際に森に入って作業を行いました。作業終了後には鎌を研ぐ作業も行いました。

実習に参加した学生は「鎌を使ったのは初めて。思うように草が切れなくて難しかった」と感想を話しました。



楽しみながら英語に触れよう 梅原・大桜保育園英語あそび教室



9月12日、大桜保育園で梅原保育園と大桜保育園合同の英語あそび教室が行われました。

この教室は、市内各保育園で毎月1回年長児と年中児を対象に実施され、園児たちが外国人とのコミュニケーションを楽しんだり、歌やリズムに合わせて五感で英語を感じたりしてもらうことを目的に行っています。

教室に参加した園児たちは、講師と一緒に英語の歌を歌ったり、フルーツのカードを使ったクイズに答えたり、楽しい時間を過ごしました。

自分たちで植えた稲を 大桑小3年生が稲刈り体験

9月13日、大桑地区の田んぼで、大桑小学校3年生の稲刈り体験が行われました。

この稲は5月に児童が田植え体験で植えたもので、大桑機械化営農組合の協力で管理していました。

体験では、昔ながらの手鎌を使い、一束一束丁寧に刈り取りました。稲刈りを体験した児童は、「鎌を使うのは初めて。思っていたより力がいえる作業だった」と話していました。

また、体験の後には、機械による稲刈りを見学しました。作業を見学した児童は、手鎌と機械の作業時間の違いに驚いていました。



ふるさとで楽しくふれあう 北山ふるさと祭り



9月16日、北山交流センターで北山ふるさと祭りが行われました。

このまつりは、ふるさと北山地区を懐かしく思う人と、現在北山地区に住んでいる人のふれあいを目的に行われており、今年で2回目を迎えました。

まつり当日は、自治会によるバザーのほか、市重要無形民俗文化財の北山雨乞い太鼓・雨乞い踊りが披露されました。太鼓の演奏が終わると、やぐらを中心に盆踊りが行われ、参加者が一つの大きな輪となって、踊りを楽しみ、交流を深めていました。

旭ヶ丘、平井自治会が 宝くじ助成金で公民館の備品購入

平成29年度コミュニティ助成事業を活用し、旭ヶ丘自治会が机、机収納台車、いす、いす収納台車を、平井自治会がテント、炊き出しセットを購入しました。

コミュニティ助成事業とは(一財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源とし、住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図り、活動に必要な施設、設備に助成する事業です。

